

JPWA会員が選んだ

# 2014年業界十大ニュース、 業界川柳ベストテン

2014年  
業界川柳  
ベストテン



第1位 医薬品市場17年ぶり 上期前同割れ

第2位 医薬品卸 上期減収減益

第3位 薬価、診療報酬、消費税の同時改定

第4位 未妥結減算ルールの実施

第5位 後発品の急激な伸長、長期収載品の大幅な減少 (カテゴリーチェンジ)

第6位 卸連、薬価の頻回改定に断固反対

第7位 消費税10%、1年半先送り

第8位 一般用医薬品のインターネット販売開始

第9位 エボラ出血熱の流行、デング熱の国内感染

第10位 PM2.5の中、IFPW北京総会開催

2014年  
業界十大  
ニュース

本年を振り返りますと、さまざまなニュースがありました。1月には理化学研究所からSTAP細胞の発見が報告されましたがその研究過程についての疑惑が社会問題となってしまいました。2月にはロシアのソチ市で開催された冬季オリンピックで日本人選手の活躍が伝えられました。4月には消費税率が8%に引き上げられ、5月には集団的自衛権をめぐる政府の憲法解釈が大きな社会問題となりました。6月にはブラジルでサッカーW杯が開催され、日本代表は少々残念な結果となりました。また、7月には西アフリカで感染拡大中のエボラ出血熱ウイルスにリベリアで活動中の米国人への感染が確認され、8月にはWHOが緊急事態を宣言するという報道がありました。日本ではデング熱ウイルスへの感染が約70年ぶりに確認され、蚊の発生が収束するまでの間公園が閉鎖される事態となりました。さらに、8月から9月にかけて各地で記録的な豪雨や大きな台風による大被害が発生し、また御岳山が噴火し多くの観光客が巻き込まれるという悲しい出来事がありました。そして、11月には消費税率10%への引き上げ時期が延期となり、今後の税率引き上げや成長戦略の前進の是非について国民に問うとして衆議院が解散され、12月

には総選挙が行われました。

一方、医薬品業界では、4月に診療報酬改定と薬価改定が実施されました。薬価改定においては、新薬開発の促進とともに後発医薬品の使用を促進するなどの内容が盛り込まれ、診療報酬改定においては、未妥結減算の仕組みが導入されました。また、経済財政諮問会議では薬価の改定頻度の議論が行われ、いわゆる「骨太の方針」において薬価調査・薬価改定の在り方について頻度を含めて検討することとされました。さらに、卸連合会としては消費税について、医療用医薬品では消費税で損税が発生していないことの周知に努めるとともに、医療機関や保険薬局との価格交渉において税抜き価格とする表示カルテルを10月から実施したところです。

このように今年もいろいろなニュースが駆け巡りましたが、それらの話題を中心に例年同様、「業界十大ニュース」「業界川柳ベストテン」を募集しました。今年の川柳のお題は「ノーベル賞」「未妥結減算」「消費増税」「表示カルテル」「天災」「エボラ出血熱」「錦織圭」「売上マイナス」としました。11月下旬に締めきり、厳正なる審査の結果、ここにベストテンを発表します。

第1位

くらしむき ゼイゼイゼいと 息あがり

第2位

ああ厳し 小遣いまでも 前同割

第3位

見送るも 上げるも地獄 消費税

第4位

ややこしい 下がる薬価に 上がる税

第5位

新規受注 受けた商品 ジェネリック

第6位

錦織の 粘り強さを 交渉に

第7位

消費税 上がると下がる 受診率

第8位

税、減算 後発、天候 買い控え

第9位

決まったと 確認するにも 確認書

第10位

LED 医薬卸も 照らしてよ